

戸田家の兄妹（1941）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 106分
初公開日 1941/03/01

【解説】
小津安二郎が池田忠雄とともに書いたシナリオを監督したドラマ。小津が「東京物語」に先駆けて家族の崩壊を描いた。豪華なキャストも功を奏して、公開時には大ヒットを記録した。ストーリーはアメリカ映画「オーバー・ゼ・ヒル」の翻案とされている。
戸田家は裕福な家庭で、長男、長女、次男、次女、三女の五人きょうだいがいる。母の還暦祝いで家族が集まるが、その日のうちに多額の借金を残したまま父が死亡。家や家財道具を手放すことになり、母と独身の三女が家を出ることになった。二人は長男の家に居候することになるが、長女の妻と折り合いが悪く、今度は長女の家在世話になることにするが、ここも居心地が悪い。結局二人は別荘地で暮らすことに…。

【クレジット】
監督 小津安二郎
脚本 池田忠雄
小津安二郎
撮影 厚田雄治
美術 浜田辰雄
衣裳 斎藤耐三
編集 浜村義康
音響効果 斎藤六三郎
音楽 伊藤宣二
演奏 松竹大船楽団
出演 藤野秀夫 戸田進太郎
葛城文子 母
吉川満子 長女千鶴
斎藤達雄 長男進一郎
三宅邦子 妻和子
佐分利信 二男昌二郎
坪内美子 二女綾子
近衛敏明 夫雨宮
高峰三枝子 三女節子
桑野通子 時子
河村黎吉 鈴木
飯田蝶子 女中きよ
葉山正雄 千鶴の子良吉
高木真由子 進一郎の子光子

岡村文子	鰻屋の女将
笠智衆	友人
坂本武	骨董屋
西村青児	骨董屋
谷麗光	写真屋
森川まさみ	谷本夫人
若水絹子	その友人
忍節子	その友人
河野敏子	女中きぬ
文谷千代子	たけ
岡本エイ子	かね
出雲八重子	しげ
武田春郎	畠山
山口勇	友人